

2018年6月5日

**大塚製薬工場、  
経腸栄養剤(経管・経口両用)「ラコール<sup>®</sup>NF 配合経腸用液」の  
新フレーバーとして、抹茶フレーバーを新発売**

株式会社大塚製薬工場(本社:徳島県鳴門市、代表取締役社長:小笠原信一、以下「大塚製薬工場」)は、医療用医薬品である経腸栄養剤(経管・経口両用)「ラコール<sup>®</sup>NF配合経腸用液」の200mL製剤の新製品として、「ラコール<sup>®</sup>NF配合経腸用液(抹茶フレーバー)」を、本日新発売いたしました。

ラコールNF配合経腸用液は、日本人の栄養摂取パターンを基に、たん白質、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラル、微量元素をバランス良く配合した半消化態経腸栄養剤です。長期の栄養管理に適した経腸栄養剤として開発され、たん白質は日本人の摂取パターンを参考に植物性たん白質の含量を高く、脂肪はn-3系脂肪酸( $\alpha$ -リノレン酸)を多く含有するシソ油を配合しており、n-3系脂肪酸とn-6系脂肪酸を1対3の割合に配合<sup>※1</sup>しています。さらに、エネルギー効率に優れたMCT(中鎖脂肪酸トリグリセリド)を配合しています。

近年ではONS<sup>※2</sup>の有用性がさまざまな分野で示され、経口からの栄養摂取の機会は、今後増えてくものと考えられます。ラコールNF配合経腸用液は、経口摂取時の患者さんが継続して服用しやすいよう甘さを控えた味にしており、このたびの抹茶フレーバーの新発売により、200mL製剤においては、ミルクフレーバー、コーヒーフレーバー、バナナフレーバー、コーンフレーバー、抹茶フレーバーの5種類となりました。容器は、軽量で廃棄しやすいアルミパウチです。患者さんのお好みに合わせて使用いただけるようフレーバーの選択肢を増やし、使いやすさにも配慮することで、服薬アドヒアランス<sup>※3</sup>向上に寄与してまいります。

経腸栄養による栄養管理は長期にわたることが多く、栄養効果が高く、風味の良い、利便性に優れた製剤が望まれており、このたびの製品は医療現場に貢献できるものと期待しております。大塚製薬工場は、今後も適正な栄養管理に役立つ情報や製品を継続的に提供することで、臨床栄養領域における患者さんや医療従事者のベストパートナーを目指してまいります。

大塚グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

※1 n-3系脂肪酸とn-6系脂肪酸は、生体内での代謝経路が異なり、しかも相互変換できないため、両者をバランスよく摂取する必要があります。

※2 ONS(Oral Nutritional Supplements)とは、何らかの病気により十分な食事が取れない場合に、通常の食事に加え、経腸栄養剤を補助的に少しずつ摂取することをいいます。

※3 服薬アドヒアランス(adherence)とは、患者さんが自己判断により服薬中止することなく、主体的に治療の意味・意義を理解し正しく服薬することをいいます。

製品概要

製 品 名	ラコール <sup>®</sup> NF 配合経腸用液(抹茶フレーバー)
種 類	経腸栄養剤(医薬品)
包 装	200mL×24 パウチ 
効 能 ・ 効 果	<p>一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。</p> <p>《効能・効果に関連する使用上の注意》</p> <p>経口食により十分な栄養摂取が可能となった場合には、速やかに経口食にきりかえること。</p>
用 法 ・ 用 量	<p>通常、成人標準量として1日 1,200～2,000mL (1,200～2,000kcal)を経鼻チューブ、胃瘻又は腸瘻より胃、十二指腸又は空腸に1日 12～24 時間かけて投与する。投与速度は 75～125mL/時間とする。経口摂取可能な場合は1日 1 回又は数回に分けて経口投与することもできる。</p> <p>また、投与開始時は、通常 1 日当たり 400mL (400kcal)を水で希釈 (0.5kcal/mL 程度)して、低速度(約 100mL/時間以下)で投与し、臨床症状に注意しながら増量して3～7 日で標準量に達するようにする。</p> <p>なお、年齢、体重、症状により投与量、投与濃度、投与速度を適宜増減する。</p> <p>《用法・用量に関連する使用上の注意》</p> <p>本剤は、経腸栄養剤であるため、静脈内へは投与しないこと。</p>
貯 法	室温保存
使 用 期 限	製造後 13 ヶ月
発 売 年 月 日	2018 年 6 月 5 日
薬 価	146 円/200mL
製 造 販 売 元	イーエヌ大塚製薬株式会社
販 売 提 携	大塚製薬株式会社、株式会社大塚製薬工場

## 会社概要

### 株式会社大塚製薬工場 (Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc.)

設 立 : 1969 年 10 月 7 日 (創立 1921 年 9 月 1 日)  
資 本 金 : 8,000 万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 小笠原 信一 (おがさわら しんいち)  
本社所在地 : 〒772-8601 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原 115  
従 業 員 数 : 2,297 名 (2017 年 12 月 31 日現在)  
事 業 内 容 : 臨床栄養製品を中心とした医薬品、医療機器、機能性食品等の製造、販売  
および輸出入  
U R L : <http://www.otsukakj.jp/>

### イーエヌ大塚製薬株式会社 (EN Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.)

設 立 : 2002 年 3 月 26 日  
資 本 金 : 15 億 1,000 万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 小松 五郎 (こまつ ごろう)  
本社所在地 : 〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第 4 地割 3-5  
従 業 員 数 : 347 名 (2017 年 12 月 31 日現在)  
事 業 内 容 : 経腸栄養剤、医療食、高齢者用食品、各種病者用食品などの研究・開発、製  
造、販売および輸出入  
U R L : <https://www.enotsuka.co.jp/>